

平成 29 年度 全国学力・学習状況調査結果

平成 29 年 4 月 18 日、6 年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果から、池上小学の子どもたちの学習と生活の様子をお知らせします。

【国語】

国語に対する関心は高く、俳句の情景を捉えて、よさを選択する問題や話合いで自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える問題において、全国平均を上回りました。しかし、物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめるような問題においては、課題が見られました。また、漢字を正しく読む・書く、といった基本的な言語についての知識理解も十分ではないということが分かりました。

【算数】

算数では、表を活用して考える問題において、全国平均を上回っていました。しかし、文章を読んで資料を活用する問題においては、課題が見られます。基本的な計算や計算のきまりについての知識理解も十分ではなく、乗除先行や商を分数で表すことについても正答率が低い結果となりました。

【学習への関心・学習習慣】

「国語や算数の学習は大切だと思いますか。」「国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか。」という質問に対しては、そう思うと答えた児童は全国平均を大きく上回っており、また、学習したことを普段の生活の中で活用できないかと考えている児童も多いということが分かりました。一方で、算数では、「新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思います。」と答えた児童や、「問題を解くときに、もっと簡単に解く方法がないか考える。」と答えた児童は平均を大きく下回る結果となりました。

【生活習慣】

毎朝決まった時間に起き、朝食を食べるという習慣はおおむね身につけているようです。一方で、決まった時間に寝ることや家庭学習の時間を確保することには課題が見られました。「1 日の中で家庭での勉強時間が全くない。」「30 分より少ない。」と答えた児童は全国平均の 3 倍を上回っていました。

【今後の取組】

国語、算数ともに、題意をつかむことに課題が見られます。国語では、日常の生活の中で、文章に触れる機会を増やすことが必要であると考えられます。そのため長い文章に慣れるとともに、様々な種類の文章にも慣れることができるよう、国語科を中心に読書と関連付けて学習を行います。算数では、具体的な場面を取り上げて、題意がつかめるよう取り組んでいきます。また、基礎基本の定着のために、スキル学習を継続することや、宿題の内容を、計算や漢字が定着するようなものにも取り組んでいきます。身近な地域や社会から課題を見つけ、子どもたちが必要感をもち、自分で判断し、行動できる力をつけられるよう、総合的な学習の時間と他教科との関連を図っていきます。そうすることで、自分たちの活動に自信をもち、さらに意欲をもって学びに向かうことができると考えるからです。ご家庭でも、読書や学習の時間が確保できるよう、お子さんへのお声掛けや学習環境づくりなどのご協力をお願いします。

